



Serve to Change Lives

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区

2021-2022年度 1月号



<日本資本主義の父・渋沢栄一翁所縁の枝垂桜> <真岡市 ホンデン製作所内>

渋沢栄一翁所縁の柳林農社は真岡市最初の株式会社として、明治7年に蚕種(蚕の卵)の製造と製茶を目的とし設立された。当時、生糸等の運搬に鬼怒川、利根川の水運が利用されていた。植樹された枝垂桜は現在、株式会社ホンデン製作所の敷地内で3月末頃咲かせています。
(季節外れですが紙上花見をお楽しみください。)

Contents

ガバナーメッセージ	2	米山カウンセラー研修会	12
「職業奉仕」月間に因んで	3	ロータリー財団・米山記念奨学会功労者	13
ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより	4	コーディネーターニュース	14
新入会員紹介	9	2021-2022 地区内主要行事	15
米山奨学生研究発表	10	11月会員数報告	16



「職業奉仕」月間に寄せて

国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

いし だ じゅん いち
石 田 順 一 (真岡ロータリークラブ)

ロータリアン、パートナー、ローターアクターの皆さん、新年明けましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置発令が続き、年末にはオミクロン株による感染者発生と異常づくめで、医療面、経済面等多方面で大混乱した一年でした。

さて、今月は職業奉仕月間です。ポール・ハリスはその自伝「ロータリーへの私の道」の中で「ロータリーの会員は、その一人一人が自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である」と書いています。ロータリーは職業分類の原則に基づく会員組織なのでロータリアンと職業とを切り離して考えることができないからです。我々ロータリアンは職業を通じて社会に貢献しなければならないのです。職業という考え方は、他の奉仕団体にはない、ロータリーならではの特徴で、ロータリーの金看板といってもいいものです。言い換えれば、ロータリーのロータリーたる所以は、この「職業奉仕という考え方がある」からだ、と言ってもよいでしょう。そして、職業分類はクラブの中核的価値観のために有効であり、多くの仲間を集める手段となっております。

職業奉仕はロータリーの創立当初からの奉仕と捉えられがちですが、実は、1906年に社会奉仕が公式に初めての奉仕と表現され、その後に職業奉仕の概念がついてきています。1908年シェルドンが「職業分類表」を作成し、1910年全米ロータリー・クラブ連合会(国際ロータリーの前身)誕生(16RC、1500名)初代会長にP・ハリスが就任(2ヶ年度)、シェルドンによる職業方法委員会委員長に就任が職業奉仕の公式の始まりだと思われます。1915年には、ロータリー倫理訓道徳律が採択され、その時が職業奉仕基準の確立と考えられます。しかし、P・ハリスが4人で始めた親睦と、お互いの職業を信頼関係で繋いだ点では、設立当初から、高潔性のある職業奉仕を基盤としていたもとであると思われます。

故に、日本のロータリアンの親睦と職業奉仕を中心とした理念はロータリーの神髄をついたものです。

1940年以来、多くのロータリアンが、自分の職業、地域、個人レベルにおける言行の尺度として、4つのテストを使用してきました。職業奉仕にふさわしい言葉と認められていますが、問いかけているだけで、答は出しておりません。ロータリーは今後さらに改革が進み進化して行くと思われ、現在の姿は通過点なのかも知れません。しかし、現状の5大奉仕部門は我々の失ってはいけない奉仕だと思います。

ロータリアンファミリーの皆さん、今年一年、自分自身、地域社会、世界で持続可能な良い変化を生むための行動人となり、ロータリーがあたえてくれるもの、倫理原則を意識してロータリー活動を続けて行きましょう。



職業奉仕(Vocational Service)について

RI2550地区

職業奉仕委員会委員長

瀬野 公男 (小山南RC)

数年前までは、職業奉仕(Vocational Service)と申しますと、ロータリーの根本原理であるとか、金看板であるとか、『職業奉仕なくしてロータリーは語れない』かのように言われていました。私も入会当時は、諸先輩よりその様に教えられました。ところが近年RIではあまり職業奉仕を重要視していません。と言うよりRIは職業奉仕を、社会奉仕の中の一部に組み込んでしまいました。職業奉仕を声高に唱えているのは、日本のロータリアンだけだと言われているようですが実態は、日本に置いても職業奉仕の理解が深まっている状況にはないとも言われています。

職業奉仕は難しいとか、理解するのが大変だとかとよく聞きますが、そんなに職業奉仕を深掘りして大上段に構える必要も無いし、活動方法は多種に渡っていると思います。

職場訪問・優良社員表彰・会員企業対抗ボーリング大会等があります。例会に出席するだけでも、立派な職業奉仕だと思います。ただ現状では三密なので難しいかと思っています。

そこで、石田ガバナーが地区チーム研修セミナーに於いて「四つのテストに代表されるロータリー倫理観は、とりもなおさず企業や組織の社会的責任であると理解すべきでありこれは職業奉仕に他ならないことを会員に強調すべきです。」と話されました。

これであれば、コロナ禍で中々クラブでの活動が出来なくても、ロータリアン自身の会社や従業員や地域社会に照らし合わせて、独自の奉仕活動が可能かと思っています。

11月に入り新規感染者が激減し、クラブ例会も開催される様になり、少しは平常に戻って来ているとは言え、第6波が来るかもしれません。そうなったら自粛生活に逆戻りです。

ロータリーの奉仕活動が全て停止してしまいます。これからの奉仕活動は、コロナ禍になっても継続可能な活動が重要だと思われます。私見ですが。

結びに2年前に職業奉仕研修セミナーで講演を頂いた、村井總一郎様著の『超入門 職業奉仕の入り口』の文献を引用させていただきます。

1. 真実か どうか を 1. 嘘や偽りはないか？
2. みんなに公平か を 2. すべての取引先に公正か？
3. 好意と友情を深めるか を 3. 信用を高め、取引先を増やすかどうか？
4. みんなのためになるか どうか を 4. すべての取引先に利益をもたらすかどうか？

この様に解釈すれば『四つのテスト』は職業倫理を問うている、まさにそのものである。

『四つのテスト』を例会で唱和しているクラブもありますので、会員として何も見ないで言える様にしておきたいものです。覚える方法として「し・み・こ・み」があります。

『四つのテスト』の冒頭の一文字をそれぞれとったものです。

これで頭に浸み込みやすくなると思います。

まずは『四つのテスト』を「あなたの営んでいる職業は…」として職業上のことを、自問自答されると良いと思います。

『職業奉仕とは、職業サービスを念頭に相手の立場に立った職業活動を行い、相手の喜びを自分の喜びとしながら、職業人としてより高い倫理の向上に努め、世の中に広めていくこと』と、まとめております。

9/16(木) 鹿沼ロータリークラブ

会長 倉松 俊弘
幹事 加藤 昌彦



9月16日、2021-2022年度国際ロータリー2550地区石田順一ガバナーが第7グループ野本晃也ガバナー補佐、随行2名(平石典嗣様、太田浩彰様)を伴い公式訪問をされました。8月20日より非常事態宣言が出され、例会が休会となり、9月2日に予定されていた野本ガバナー補佐の訪問は中止となり、今回の公式訪問は例会休会のため、我がクラブは会長・幹事・副会長・副幹事の4人でお迎えをさせて頂きました。当初緊張をしましたが、石田順一ガバナーの温かい優しいお人柄により和やかに行うことができました。(感謝)

はじめに石田順一ガバナーよりシェカール・メータRI会長の方針を説明され、特に「each one ,bring one」とされる会員増強について、

真岡クラブでの周年記念における会員増強の実例を話され、やる気になればできるという教訓を頂きました。

続いて今年度の会長方針を説明させて頂きました。今年度の目標は「ロータリーを楽しもう」とさせて頂き、自分が楽しむことができないれば会員増強などとはできないと思います。

また、5つの重点項目を挙げさせて頂きました。

1. 職業奉仕の理解を深める。

社会奉仕と混同されることが多いと思いますが、会員相互の職業を重んじ、自分の職業を高潔にすること。

2. 「ロータリーの友」の講読を推奨する。

たくさんの有意義な情報が記載されている「ロータリーの友」からロータリーの理解を深めていただく。

3. 世代交流の推進

我がクラブの会員は62名、年齢構成は30歳から93歳、平均年齢が59歳、50歳代をピークに正規分布をしているという理想的な編成であり、ベテランと若手の交流を図って活動させて頂きます。

4. ポリオ撲滅活動の推進

人類がこの世界から感染症を撲滅すること、これは大変なまた重要な意義のあることであり、天然痘に続きポリオ撲滅まであと少しとなっています。現在世界で2ヶ国、2人の症例にまでなっているこの活動を止めるわけにはいきません。世界の子供達と交わした約束です。クラブをあげて支援します。

5. コロナ禍の中での新しいロータリー活動

コロナ禍で例年行われている活動ができなくなり、コロナ禍の中で行える新しいロータリー活動を検討する。5年後10年後を見据えたハイブリット例会検討委員会を立ち上げました。

石田ガバナーからは、大変な状況ではありますが、何かあればご連絡頂き、今年度の活動をよろしくお願いします。とのお言葉を頂きました。

<我クラブの奉仕事業>

職業奉仕委員会

鹿沼警察署駐在所勤務令夫人及び女性警察官表彰

社会奉仕委員会

鹿沼市ふれあいスポーツ大会への参加協力

市内小中学校特別支援学級児童生徒との交流(バーベキュー大会)

国際奉仕委員会

セブ島小学校への教室建設

青少年奉仕委員会

県立富屋養護学校鹿沼分校児童・生徒との和太鼓交流会

鹿沼秋祭りにおけるJT協賛事業「ひろえば街が好きになる運動」

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

盲導犬体験教室(ロータリー障害者更生援助会)に実施

高校生面接実践講座の開催

各種団体への協賛・助成

ボーイスカウト鹿沼第一団、スポーツ少年団等

以上は例年行っている奉仕活動です。

しかし昨年度はコロナ禍のため中止となった奉仕活動もありました。

昨年度新たな奉仕活動としては、社会奉仕委員会によりコロナ禍の中で医療従事者への感謝事業として、上都賀総合病院に勤務している約720名の方にクリスマスケーキを贈らせていただきました。

また、クラブとして、自然災害に備えて頂くために、鹿沼消防本部に救命ボート2隻と救命胴衣3着の寄贈を行いました。

今年度の新しい奉仕活動として、地区補助金を利用して頂き、海外の子供達に靴を送る活動を行います。

奉仕活動に関しましては、単年の活動が望ましいという考えがありましたが、現在では毎年継続した奉仕活動が中心になっています。石田ガバナーからはこのような継続奉仕活動も意義ある活動であり続けて下さいとご指示を頂きました。

我がクラブでは継続と単年の奉仕活動を企画し、シュカール・メータRI会長の言葉にもあるように、奉仕をするのではなく、奉仕をさせて頂くという心を忘れずに、みんなの人生を豊かにするために奉仕活動を行うのであるということを再認識して活動していきます。

9/21火 岩舟ロータリークラブ

会長 安藤 宣好
幹事 新井 正人



9月21日(火)に石田順一ガバナー、片柳均ガバナー補佐、そして随員の真岡RCの齊藤敏彦会長や青木圭太会員をお迎えし開催されました。

今年度の公式訪問はコロナ禍による緊急事態宣言下での開催ということもあり縮小となりました。

会長幹事懇談会では2021-2022国際ロータリーのシュカール・メータ会長の方針「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」のご説明や、第2550地区の今年度の取り組みなどをご説明いただきました。

ロータリー財団の事、地区補助金の活用、米山基金の事、ITの活用や他クラブの活動などをご紹介いただき大変勉強になりました。

オープンディスカッションは中止となってしまいましたが、会員にもご

挨拶やローターのあり方など、お話しいただきました。

今後のクラブ運営に役立て、少人数クラブならではの運営に生かしていきます。

この度は、ご来訪いただき誠にありがとうございました。

<我クラブの奉仕事業>

- ・近隣小学校への善行篤行児童表彰
- ・特別支援学級生徒児童への物品贈呈
- ・コロナ禍により活用できなかった予算の活用で物品贈呈
- ・市町村合併前の町花(コスモス)の種まき等
- ・その他地域との交流事業

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

9/29水 馬頭小川ロータリークラブ

会長 薄井 武博
幹事 高野 譲司



石田ガバナーおよび大村ガバナー補佐を、去る令和3年9月29日付にて例会場「ホテル美玉の湯」にてお迎えし、公式訪問が開催されました。

今年もコロナ禍ということもあり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初、懇談会は石田ガバナー、大村ガバナー補佐、会長および幹事の4名という制限された中で開催される予定でした。しかしながら、当日、理事会を開催し、理事会に石田ガバナー、他が参加される形での懇談会となり、総勢14名での開催となりました。

懇談会では、現況報告書の内容が確認され、石田ガバナーより質疑が提出され、意見交換を実施し、貴重なご意見を多数賜りました。特に

四つのテストについて、会員間で定期的に見直すことも重要とのご指摘を受け、早速、毎月第2週のロータリーソングを四つのテストに変更いたしました。

今年もコロナ禍の中、大変厳しい年度となっており、集合写真を撮影後、解散となりました。今後も会員一同、気を引き締めて活動してまいります。この度は遠方にも関わらずご訪問いただき誠にありがとうございました。

10/12火 鹿沼中央ロータリークラブ

会長 石川さやか
幹事 留目 学



2021年10月12日(火)石田順一ガバナー、野本晃也ガバナー補佐、随行者2名をお迎えし、今月より緊急事態宣言は解除されましたが、まん延防止等の措置の中でコロナ感染対策をし、会長幹事懇談会のみ行われ、ガバナー公式訪問が開催されました。

鹿沼中央ロータリークラブからは、会長、幹事、会長エレクト、パストガバナー補佐、SAAの5名が参加いたしました。

例会は行わず会長幹事懇談会のみではありましたが、約2時間近く公式訪問となり、和やかな雰囲気の中でも積極的な意見交換が交わせたと思います。

今年度は、当クラブでロータリー歴が一番短い会員が会長として就任し、新

鮮で素朴な質問が交わされました。石田ガバナーからの親切なアドバイスは当クラブ会長にとって自信になったと思います。

お土産には、旬な話題でもあります「シウマイのまち鹿沼」。

例会場でもありますヤオハン特製の肉シウマイをご用意させていただき、更に盛り上がりました。

少人数のクラブですが、ロータリーの奉仕を通して、地域で認知され、地域の方々から見て魅力あるクラブになるよう精進したいと思います。

今後のクラブ運営に希望の持てる素晴らしい公式訪問となりました。有意義な時間を本当にありがとうございました。

<我クラブの奉仕事業>

・鹿沼城跡に石碑建立事業

令和2年6月鹿沼新市庁舎の建設が始まりました。新市庁舎は鹿沼城跡に建設され、建設中に県内で初の障子彫りも発見されましたが、地域で鹿沼城の話題にはなっていません。今だからこそ、鹿沼の歴史を知る機会。鹿沼城跡は、日本国内でも大きな城跡であり、「鹿沼城跡」の石碑がないことは珍しいとされています。この背景から、鹿沼中央ロータリークラブは、「鹿沼城跡」と刻まれた石碑を建立寄贈し、地域の皆様の集う場所になることを願い計画しています。地元を愛し、石碑は永遠と残りますので、当クラブもこの機会に歴史を刻みたいと思います。

・サンタDEメリークリスマス

鹿沼市社会福祉協議会に協力し、12月入ってから3日間会員が手分けして、サンタクロースに扮し、市内の重度の障害を持つお子様がいるご家庭約50軒にクリスマスケーキとメッセージカードをプレゼントする事業です。こちらは毎年継続して実施しています。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

10/13水 しもつけロータリークラブ

会長 山本 郁夫
幹事 栗田 敏幸



10月13日(水)に石田順一ガバナーと金子正男地区幹事、石塚龍夫地区会計長、第4グループ高山忠則ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。

11時00分からの懇談会では、当クラブから会長・幹事、沼生隆会長エレクトも加わり約1時間開催されました。

山本会長からは当クラブの現状と今年度の奉仕事業について報告があり、石田順一ガバナーからは、今後のコロナ禍での例会の開催方法及びロータリー奉仕デーの開催、4年後のクラブ30周年に向けての会員増強について等、様々な項目において、丁寧にご指導を頂きました。

第4グループ員として、昔から交流の在る石田順一氏(真岡RC)がガバナーと云う事で、終始和やかに懇親会が実施されました。

例会卓話では、シェカール・メータ国際ロータリー会長の基本テーマの話から始まり、今後のロータリー活動に関しては、クラブ戦略を練り、未来のクラブを描いていくように、また、DEI(多様性・公平性・開放性)を考えて、奉仕活動をするようにご指導を頂きました。

コロナ禍でのガバナー公式訪問で短縮バージョンでしたが、石田順一ガバナーのお人柄もあり、ニコニコと楽しい時間を過ごさせて頂きました。

昨今ようやくコロナウイルスの感染も収まりつつあり、石田順一ガバナーにおかれましては、いよいよ本気モードにて実力発揮の時期です。10月25日は地区大会も開催されます。

どうぞお身体を大切になさって、これからのガバナー活動、ご活躍をご祈念申し上げます。

本日は大変お世話になりました。

<我クラブの奉仕事業>

・未就学児への絵本贈呈プロジェクト

現在しもつけロータリークラブは、心を込めた奉仕活動を推進するよう、地区補助金を利用した、未就学児への絵本寄贈プロジェクトを進めております。

下野市16施設・上三川町11施設の幼稚園や保育園・認定こども園等、未就学児が通っている施設を対象に絵本や図鑑を配布します。

青少年奉仕事業として、子供達の教育の一環として役に立つような事業です。

興味のある絵本や図鑑をプレゼントする事により、小さな子供達に喜んでもらえることは、我々ロータリークラブの奉仕活動の喜びであり、奉仕事業の一つとしての達成が、心の充実につながり、心豊かになるものと確信しております。

ロータリアンとしての崇高な意識を携え、地域社会の役に立つ事業に取り組み、共に喜び、共に感動を味わいましょう。

この心意気で、しもつけロータリークラブ現在進行中です。

10/15金 足利ロータリークラブ

会長 五十嵐 稔也
幹事 茂呂 宗男



足利ロータリークラブは石田順一ガバナーの公式訪問を行いました。

当日は石田ガバナーと真岡RCの安田会員が来訪して頂き、会長、幹事懇談会では石田ガバナーより貴重なお話を頂きました。

地区方針「未来のクラブを描きましょう」を説明して頂きました。

足利ロータリークラブも会員増強の話がされ、30名を目標とさせていただいた。今年のテーマ「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」のテーマカラーについて、また地区の方針と目標についてのお話しは大変興味深かったです。

今年度は会場で石田ガバナー・安田会員・五十嵐会長・茂呂幹事・野澤直前会長・亀井次年度幹事と共に記念撮影を行いました。また、足利ロータリークラブの通年行事として、新春風揚げ大会、足利高校進路講演会なども報告致しました。

一連の公式訪問を通じて、当クラブにおいては伝統を守りながら新しい流れを取り入れ地域に貢献して欲しいというお言葉を頂きました。石田ガバナーには、ご多忙の中、熱心に当クラブのご指導をしていただき、改めて謝意を表する次第であります。

10/14(木) 栃木南ロータリークラブ

会長 神山美恵子
幹事 渡部 康男



2021年10月14日(木) サンプラザに於いて、第2550地区ガバナー石田順一様、真岡RCH下田様、藤村様をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

11時からの懇談会は、当クラブから片柳ガバナー補佐、会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクトの5名が出席し、ハイブリット例会体制作りのアドバイス、社会奉仕事業についての意見交換が活発に行われました。地区内での興味深い活動も多く、もっとお聞きしたいところでしたが時間が足りず残念でした。

会員増強については、純増3名の実現が出来そうです。実

情は増強に熱心な何人かの会員さんのお陰です。感謝です。しかしコロナ禍での新たな課題も見つかり、今後もクラブ維持のため、クラブ全員で会員増強に対する強い思いを持ち続けなければと思いました。

前日の雨も上がり、始終笑いありの晴れ晴れとした懇談会でした。ありがとうございました。

緊急事態宣言が解除になり、急きょガバナーにも例会にご出席いただく事が出来ました。

シェカール・メータRI会長の国際ロータリーのテーマ及びメッセージを放映し、ガバナーから詳しく解説をして頂きました。奉仕の定義についても、奉仕の規模だけでなく奉仕に対する姿勢であるとの言葉に、普段のクラブの活動に大きな勇気を頂きました。そして何より、会員増強についても、多様性についても、多くの会員達とこの場で共有出来た事が有難く嬉しい事でした。

最後に、ビジョン声明のための行動計画について話をして頂きました。常に5年後のクラブを考え、何より一年一年を大事に積み重ねて行くことだと思っています。

限られた時間の中で、多くの気づきと元気を頂きました。ありがとうございました。

<我クラブの奉仕事業>

*地区補助金を活用し地域に貢献する

通学路に子供見守りカメラの設置寄贈

又、公園に防犯カメラの設置寄贈等

*生活支援事業

経済的な問題で生活に困っている人に2か月毎にカップ麺等のお届け(栃木市社会福祉協議会が窓口)

*子供の学習・生活支援

毎週土曜日に市で実施する、生活困窮等の理由から、学習環境に課題のある世帯の小学生高学年及び中学生を対象にした学習サポートに対し、2か月毎に2教室分のおやつのお届け(栃木市社会福祉協議会が窓口)

*使用済み切手の回収

今年で9年目の活動です(栃木市社会福祉協議会が窓口)

社会奉仕委員会、青少年委員会が中心の奉仕活動ですが、他の会員もその都度必ず、買い物や運搬を手伝い、クラブ全体で取り組む事が出来ています。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

10/18日 小山中央ロータリークラブ

会長 阿久津治久
幹事 慶野 保夫



2021年10月18日、小山中央ロータリークラブの石田ガバナー公式訪問は、例会場である割烹思水荘にて、石田順一ガバナー、随員2名、小浦正久ガバナー補佐、当クラブからは阿久津治久会長、慶野保夫幹事、松本淳子副会長、松島誠副幹事が出席し、会長幹事懇談会から始まりました。到着後名刺交換、自己紹介から始まり、和やかな雰囲気の中で小浦ガバナー補佐の進行により始まります。

阿久津治久会長から本年度の活動の重点項目として、

- ①人の話をよく聞くこと
- ②何事も真剣に取り組むこと
- ③何事にも積極的に参加協力すること。

そして夢のあるクラブづくりに一番必要な事は会員増強であると、現状24名の会員の一人一人の仲が良いこと、チャーターメンバーが14名も残っていることを強みと捉え、さらなる増強の活動を報告させていただきました。

石田順一ガバナーは、クラブ戦略計画の重要性、5年後のクラブのあるべき姿、増強はもとより、退会防止に力をいれていただきたいのご指導をいただきました。

懇談会を終え、続いて全会員が拍手で迎え例会場にはいます。

セレモニーの後の卓話では、会員向けに石田順一ガバナーから、RIの現状及びシェカール・メータ今年度RI会長のご紹介をいただき、今年度テーマである、「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」を実践するために、クラブで持っている資源・コンテンツを十分に活用し、共にロータリアンである喜びと、誇りをもって仲間たちとともに、奉仕の喜びと感動を感じ取れる一年をしていきたいとお話をいただきました。

コロナ禍のため、短い時間でしたが、会員一同、石田順一ガバナーの熱意を感じ、シェカール・メータRI会長の考えを理解できる貴重な指導をいただきました。

<我クラブの奉仕事業>

・芋ほり事業

市内及び近隣の社会福祉施設の子供たちをお迎えし、芋ほりとバーベキューを通して楽しい1日を過ごす芋ほり事業です。5つある施設を順番に1施設ずつお招きし、芋の収穫を行います。

普段、芋ほりはしたことがなく、普段と違った場所で、自然体験をし、その後は、みんなで焼肉バーベキューをして美味しく、楽しくいただきます。大きな芋を掘り当てた子供たちの目の輝きをみると、春の苗植えに始まり、夏の草取り、バーベキューの準備や会場づくり等の様々な苦勞が報われた気持ちになります。引率の先生はもとより、同伴のご父兄の方々からも、「子供がこの日を来るのをいつも楽しみにしています。」とお礼を言われます。

可能な限り、続けていきたい社会奉仕事業の一つです。

新入会員紹介



大島 完之

益子RC

2021年10月31日入会

宗教法人 圓通寺
代表役員

當山は垣根のない、人々が笑顔で集える開かれた寺院を目指しておます。



利光 忍

足利東RC

2021年11月30日入会

足利銀行 東支店
支店長

不慣れではありますが、ご指導ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

入会おめでとう
ございます



帝京大学機械・精密システム学部3年
米山ロータリー奨学生
世話クラブ*馬頭小川RC

名前: Tsutomu OZAKI Yew Weng

尾崎 勉

スキャンレーダを用いて電動車椅子の人追従アルゴリズムの研究

A Study of Human Tracking Algorithm for Electric Wheelchairs Using Scanning Radar

オザキ ツトム ユー ウィン^{*1}, 井上 秀明^{*1}

Tsutomu OZAKI Yew Weng^{*1}, Hideki INOUE^{*1}

^{*1} 帝京大学 Teikyo University

キーワード: 歩行支援, 人追従, 電動車椅子, 健康, 運転負荷

(Key Words: Walking support, Human following, Wheelchair, Health, Exercise load)

1. はじめに

高齢者の進展に伴い、介護負担の増加が懸念されている。被介護者の増加の一因として高齢者の身体能力、特に歩行能力の衰えが挙げられる。そこで、歩行に関する筋力を維持・増強するために高齢者に歩行の機会を与えることが重要となる。我々は歩行時のパートナーとなる歩行支援電動車椅子を研究開発している。車椅子は歩くことに自信のない高齢者にいざとなったら乗ることができるという安心感がある。その状態で車椅子が歩く自分に自動で付いて来ることを目指す。今回、歩行する自分に自動追従する機能を車椅子に実験的に転科付加した。

2. 実験装置

図1に示すように電動車椅子(WHILL社製 Model CR)には近傍の人を検出するために図2のスキャンレーダ(Slamtec社製 RPLIDAR A3M1)を搭載した。その検出結果はパソコンに送られ人の位置を算出する。パソコンは電動車椅子とシリアル通信に接続され、人の位置に応じて制御アルゴリズムにより後輪左右のモーターを制御することによって人追従を行う。



図1 WHILL社製 Model CR(左図)とSlamtec社製 RPLidar A3M1(右図)。

3. 人トラッキングと人追従アルゴリズム

スキャンレーダの出力から人を検出しトラッキングするアルゴリズムを作成した。簡便のため制御開始時に前方の所定の範囲(第1の範囲)にある対象物がトラッキングすべき人だと設定する。そして、一旦対象物を検出するとその付近により狭い範囲(第2の範囲)を設定し、対象物が他の障害物と混合しないよう工夫した。

人との目標相対距離を1[m]に、人と車椅子の目標相対角度を0°になるように比例制御を行うアルゴリズムを作成した。

ただし、スキャンレーダは車椅子の中央の位置にないため、そのズレを補正するよう目標相対角度を右側12.7°(人が1[m]先で車椅子の正面なる)に設定した。

4. 実験結果

図2、図3に実験結果を示す。車椅子の前方約5[m]、左側約10°の位置に立ち止まっている人に追いつく条件での結果である。停止目標位置である前方1[m]かつ右側12.7°によく収束している。更に、歩行する人への追従も確認した。

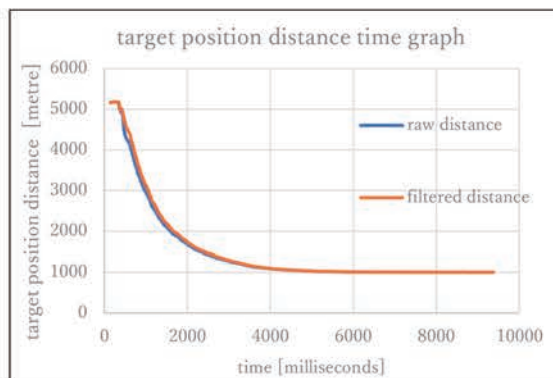


図2 ターゲット距離変化

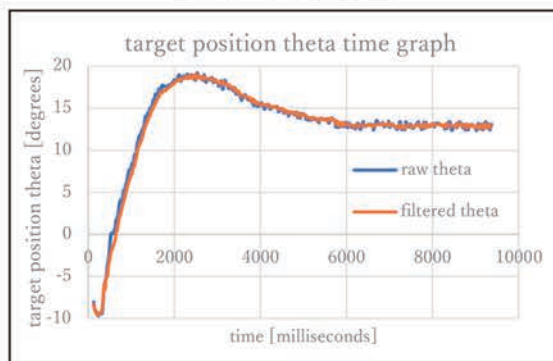


図3 ターゲット角度変化

5. まとめ

スキャンレーダを用いて人を検出するアルゴリズムと人に追従するアルゴリズムを作成し、実機に搭載して動作を確認した。今後、様々なシーンで自動走行できるよう各種アルゴリズムを開発していく。



帝京大学バイオサイエンス学部3年
米山ロータリー奨学生
世話クラブ*宇都宮陽南RC

名前: Cantona Billton Jing Tao

ケントナ ビルトン ジン タオ

自閉スペクトラム症病態モデルマウスにおけるシナプス解析

Cantona Billton Jing Tao、内野茂夫【指導教員】

1. 概要

自閉スペクトラム症 (ASD) は先天的な高次脳機能障害であり、罹患率はおよそ1~2%と高い割合であるものの、根本的な治療法はまだ開発されていない。主な症状は、コミュニケーション障害や不安亢進などの社会性・情動の障害、興味・行動の限局化や反復常同行動、感覚・運動・睡眠障害などがある。現在、これらの症状は神経回路の機能不全によって起こると考えられている。神経回路は、情報の出力を担う軸索と入力を受ける樹状突起の2種類の神経突起から形成されている。これらの神経突起は直接繋つておらず、シナプスというわずかな隙間を持って情報のやり取りを行う (図1)。シナプスには情報伝達を担う様々な分子があり、その一つに SHANK3 が挙げられる。SHANK3 は、シナプス後肥厚部に局在し、神経伝達物質の受容体であるグルタミン酸受容体やシナプスの構成分子である PSD-95、また、シナプスの成熟や機能を調整するニューロリギン、細胞骨格タンパク質であるコアクチンなど複数のシナプス機能分子と相互作用する足場タンパク質である (図1)。神経回路の形成過程では、情報伝達あまり起こらないシナプスは不要なシナプスとして消滅する”シナプスの刈り込み”という現象が起こる。ASD では、シナプスの刈り込みが正確に行わず、結果として機能が異常な神経回路が形成されると考えられている。Shank3 ノックアウト (Shank3-KO) マウスは、ASD と同様に不安亢進や社会行動異常などを示すことから、ASD の病態モデルマウスと考えられている。本研究では、Shank3-KO マウスにおけるシナプスの刈り込みを検討する目的で、大脳皮質のシナプス密度の解析を行った。

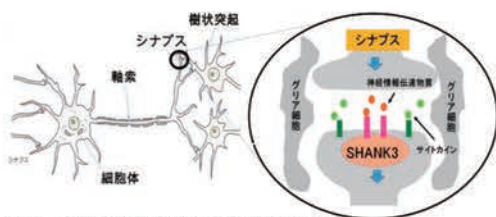


図1. 神経回路およびシナプスの模式図

2. 実験方法

深麻酔下のマウスの心臓からリン酸緩衝生理食塩水を循環し脱血後、4%パラホルムアルデヒド・リン酸緩衝液 (PFA) を循環し脳を固定した。固定した脳を摘出し、4℃で1時間、4%PFA で浸漬固定後、マイクロスライサーを用いて 250 μ m の厚さの脳切片を作製した。顕微鏡下で脳切片の大脳皮質第II/III層の神経細胞に、微細ガラスキャピラリーを用いルシファーイエロー溶液を注入後、スライドガラスにマウントし、取得した蛍光顕微鏡画像からシナプス密度を算出した。

本研究は、「帝京大学遺伝子組換え生物等に関する安全委員会」ならびに「帝京大学動物実験に関する倫理委員会」「宇都宮キャンパス実験動物施設運営委員会」の承認を得て、動物愛護の精神に則り行った。

3. 結果と考察

図2にルシファーイエローを注入した大脳皮質第II/III層の神経細胞の蛍光顕微鏡画像を示す。パネルAは4倍タイリング画像、パネルBは40倍画像、パネルCは100倍画像、パネルDはパネルCの拡大画像を示す。パネルDの拡大画像からシナプス数を計測することで、シナプス密度を算出した。本研究では、成体の野生型マウス6匹およびShank3-KOマウス2匹の結果を示した (図3)。その結果、Shank3-KOマウスのシナプスの密度は、野生型マウスのシナプス密度よりも有意に高いことが判明した。本結果は、形成されるシナプス数の増加が、シナプスの刈り込みの異常かを判別するため、今後脳発達過程における経時的な検討が必要である。

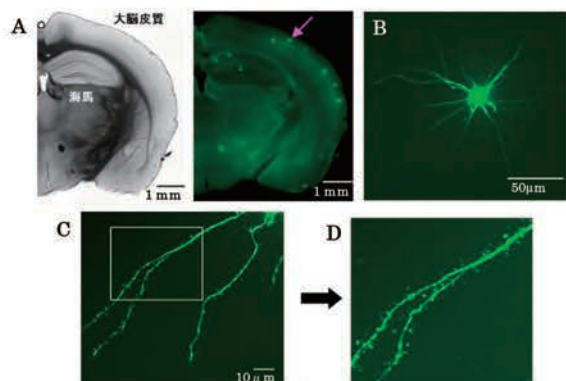


図2. ルシファーイエローを注入した大脳皮質の神経細胞の画像

4. 今後の展望

これまでの研究から、ASD患者では未熟なシナプス数の増加が報告されている。また、別系統のASD病態モデルマウスにおいても、シナプスの形成・成熟過程の異常が報告されている。しかし、その分子基盤は明らかにされていない。今後、神経回路 (シナプス) の機能不全を惹起する病因が分子レベルで明らかになれば、新たな治療戦略が開ける可能性がある。本研究の発展が望まれる。

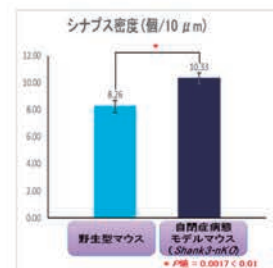


図3. 野生型マウスとShank3-KOマウスのシナプス密度

【謝辞】: 研究室の大野創平さんと Wong Kai Wa さんにご指導をいただき深く感謝致します。



「米山カウンセラー研修会」実施報告

米山記念奨学会委員長 長 正英 (宇都宮陽北RC)

2021年11月7日(日)13時30分より宇都宮市のホテルニューイタヤにおきまして、米山カウンセラー研修会を開催いたしました。休日にもかかわらず世話クラブ、またサブ世話クラブより、ほとんどのカウンセラーの皆様にお集まりいただきました。

このカウンセラー研修会は、4月に開催した奨学生との顔合わせから約半年が経ち、皆様のカウンセラーとして、また世話クラブとしての活動報告をしていただくとともに、他クラブの活動を参考に今後の参考にさせていただく目的があります。

最初に石田順一ガバナーのご挨拶をいただき、続いて、渡邊将宏地区米山地区委員より「カウンセラー制度について」pptにての説明をさせていただきました。

次に奨学生5名による、一人当たり約10分間のスピーチをご披露しました。

休憩をはさんで、カウンセラーの皆様の報告をお一人ずつお願いしました。皆さん、昨年よりのコロナ禍の中、大変ご苦労して、奨学生に向き合っていたという姿勢が、手に取るように伝わってきました。本当に頭の下がる思いでした。奨学期間は1年または2年と短い期間ですが、卒業してからも、本当の意味で米山奨学生と世話クラブカウンセラーとの付き合いが始まります。米山奨学生には、将来日本との懸け橋になってほしいとお願いするのですが、カウンセラー側からの働き掛けももちろん必要ですが、奨学生が奨学期間終わっても奨学生から積極的につながっていきたいと思えるような、おつきあいを望みます。それには、奨学生をお客様としてでなく、日ごろから、ロータリー活動、例えば例会の30分までに来てもらい受付のお手伝いをしてもらうことや、様々な奉仕活動、親睦活動の企画などに参加しロータリアンの皆さんとの深い絆を築いてほしいとお願いいたしました。

まだまだ新型コロナウイルス感染には、十分気を付けなくてはなりませんが、できる限りの活動をお願いいたします。ご参加いただきました世話クラブ、サブ世話クラブのカウンセラーの皆様、今後ともよろしくお願いいたします。



ロータリー財団功労者

ポール・ハリス・フェロー ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。(2021年7月～10月)

澤畑 宏之 高 根 沢	布施 智子 宇都宮陽東	荒牧 明二 黒 磯
鶴見 博 高 根 沢	名村 史絵 宇都宮陽東	稲垣 政一 黒 磯
清水 秀修 宇 都 宮 東	南木 智子 宇都宮陽東	大島三千三 黒 磯
田原 聖 宇 都 宮 東		

ベネファクター

村山 茂 黒 磯

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

櫻井 武彦 鹿 沼 2回	佐々木 正 宇都宮東 4回	高山 實 宇都宮陽東 3回
奥澤 松利 葛 生 3回	森田 佳延 宇都宮西 4回	檜山 達郎 黒 磯 1回
岩本 悦子 日 光 1回	片村 行雄 宇都宮陽東 1回	吉光寺政雄 黒 磯 1回
山田 功 日 光 3回	高柳 代造 宇都宮陽東 1回	鈴木 隆子 黒 磯 1回
栗原 勉 小 山 南 5回	天川 主税 宇都宮陽東 2回	植竹 一裕 黒 磯 1回
稲見 京二 宇都宮東 1回	阿部 健三 宇都宮陽東 3回	狐塚 育男 栃 木 西 5回
櫻井 基雄 宇都宮東 1回	安藤 寛樹 宇都宮陽東 3回	岩原 正樹 宇都宮西 3回
田村 哲男 宇都宮東 1回	橋本 正行 宇都宮陽東 3回	木内 裕祐 宇都宮西 8回

米山記念奨学会功労者

米山功労者 ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。(2021年7月～10月)

佐藤 金司 高 根 沢 1回	村山 茂 黒 磯 2回	君嶋 淳子 栃 木 南 1回
古口 輝夫 高 根 沢 1回	鈴木 隆子 黒 磯 5回	加藤 光男 栃 木 南 2回
鈴木 隆之 宇都宮西 4回	月江 寛智 黒 磯 5回	佐伯 莞司 栃 木 南 4回
宮下 浩 宇都宮東 34回	金子 博明 今市きぬ 1回	川井 明良 栃 木 南 4回
安藤 譲治 黒 磯 1回	和貝 益男 今市きぬ 1回	大澤美枝子 栃 木 南 4回
荒牧 明二 黒 磯 1回	福田 康 今市きぬ 1回	村上 正子 栃 木 南 5回
大島三千三 黒 磯 1回	倉松 弘道 今市きぬ 6回	
稲垣 政一 黒 磯 1回	佐山華奈子 栃 木 南 1回	

米山功労クラブ

宇 都 宮 東 30回	黒 磯 28回	今市きぬ 20回	栃 木 南 19回
-------------	---------	----------	-----------

Rotary
Region 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2022年1月号 No.1

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

予想もしない長いコロナ禍で、私達に力をくれたのは若い日本人達でした。すぐ頭に浮かぶのは松山英樹さん、藤井聡太さん、反田恭平さん、そして大谷翔平さん達です。彼らの共通点は、小さい頃に憧れの人っていて、そして具体的な目標があったということです。その具体的な目標に向かって時間を積み重ね、誰もが不可能だといった目標を達成しています。

具体的な目標をインプットすると、不思議なことにその方向に思考そして行動が向きます。それをロータリーに当てはめると、実現できないとされた“ポリオ根絶”を地道に35年かけ、今まさに達成されようとしています。この様に世界規模で活動していることは、現在も着々と世間に取り上げられてはおりますが、達成した暁には公共イメージとして大いにアピールできると考えます。

その様な中、今年度「ロータリー奉仕デー」のもと、環境問題に取り組み「海岸美化プロジェクト」を第2820地区が発案し、ロータリアンとその家族と共に世界規模で行われ大成功をおさめました。ローターアクト、インターアクト、米山奨学生、そして地域のたくさんの方々に参加して頂き、多くのマスメディアを通じて公共イメージアップに貢献致しました。

コロナ禍も先行きは不透明ですが、2021年11月現在の状況として日本の新規感染者は、世界が奇跡と驚くほど減少しています。その理由はまだ誰もわかっていませんが、日本人の特性の清潔感そして他人を思いやる心が何らかの形で寄与している可能性があると思います。さらにロータリーは素晴らしい資質、キャリアそして人間力を持ち合わせた他に類のない人材の宝庫です。この「海岸美化プロジェクト」が多方面に伸び、又それらが長期にわたる可能性を秘めていると確信しております。

冒頭のもう一つのヒントは、なるべく若い時からロータリーの情報に接してほしいということです。公共イメージにおいて10年、20年の長期目標として、若者にロータリーの真髄を浸透させ、将来ロータリーに参加してもらった具体的なプロジェクトのプランも大切であると考えます。卓話などはロータリー内だけでなく、地域の学校などに出向くことも視野にいれ、又もし地域で若者のインフルエンサー等が存在していたら、ロータリーのアドバイザーになって頂くのも一考であります。そして漫画、アニメなどでロータリアンが如何に心豊かに人生を送れるかなどをわかりやすくアピールしたいものです。

この様に、地域を良くしたいとの熱意を世界に発信してアピールできること程公共のイメージアップに繋がることはありません。これからの活動を応援し、また皆様の御協力を御願い致します。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 保延 輝文(石岡RC)

Rotary
Region 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2022年1月号 No.2

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

皆さんのクラブでは、せっかく入ってきた新会員が3年も経たずにクラブを辞めていくケースがありませんか？ しかも、それが頻繁であるとトは厄介かも知れませんよね。

その原因を探ったことがありますか？

その原因について、私の経験を踏まえて分析し、その障害を取り除き、新会員がクラブが楽しいと思うようになるための方策をお教えしましょう。

原因①シニア会員が自ら自覚すべきことを正しく認識していないこと

特に会長を経験したシニア会員は、もうクラブ内の運営については卒業した気分になって協力的ではなくなるのだ。クラブのことで、自分のことが優先するとの考えを持つ人がいる。

「俺は今までクラブに充分に協力してきた。もういいだろう」という感覚だ。でも、クラブを辞めようとはしない。ロータリアンとしてのステータスは保持したいのだ。特に、各種の寄付金やニコニコボックスへの協力などには極めて消極的で、若手に対する手本になっていない。

また、せっかく入ってきた新会員なのに、シニア会員が上手におもてなしを出来ないことから新会員が居心地の悪さを感じ退会していくという場面が何度となくあった。その理由の一つに、シニア会員が自分たちの仲間とだけ同じテーブルに座り、他の会員を寄せ付けない傾向があることだ。こういったシニア会員たちは言う。

「別に新会員を邪険にしているわけではない。向こうから胸襟を開いてくればいいことだ」例会は週に一回のこと、自分の仲間と一緒にいたい気持ちも分からないわけではないが、緊張している新会員のために、彼らの緊張を緩和してあげる役割も現役会員にはあると思う。新会員にしてみれば、せっかく入ったロータリーだ。出来るだけいろいろな人と仲良くなりたいと考えるのは自然なことだ。それに応えるのは、現役会員たちの責務だ。立派な先輩は、まず自分から新会員に話しかけ、席に案内し、隣りに座って雑談に応じる、という態度を取ってくれる。

私がクラブ会長のとき、日本のロータリークラブの創始クラブである東京ロータリークラブへメークにいったことがある。帝国ホテルの大会場で高崎クラブの会員10人を連れてお邪魔をした。その際に受けた先方の会員たちのフレンドリーでフランクな対応には痺れたものだ。流石は東京ロータリークラブだ、という感想を皆が持った。見渡せば、テレビで見掛ける顔ぶれがたくさんいる。そういった人たちが皆、親切なのだ。ロータリアンの鑑を見た気がした。

原因②新会員へのフォローが不足していること

新会員は、近い将来その周辺の友人たちを連れてきてくれるキーマンであり、その反面彼らを失う(クラブを辞める)ことはその周辺の新会員ターゲット層を根こそぎ失うことを意味する。彼らが、クラブに居続けることは有意義だと思える環境を作ることが大切なのだ。それには、彼らの紹介者やクラブのシニア会員、会長や幹事の役員たちのバックアップ(フォロー)が必要だ。また彼らに対し、単にお客様のようなおもてなしをするのではなく、彼らがロータリーを知り、好きになり、楽しむようになれる教育を提供することが大切なのだ。それは本来、彼らを迎え入れたクラブが責任を持って取り組むべきことなのだが、それが出来るクラブは少ない。彼らはロータリー知識を得る機会が与えられることなく、ただ例会に出席し、ボツネンと昼メシを食って帰るだけのロータリー活動になってしまう。これでは続くはずがない。

解決策①例会場での着席場所を毎回抽選にした

そこで、毎週、例会において同じテーブルに同じ会員、グループが座らない工夫として、私は着席場所を一年間、毎回抽選にした。そうすれば、会員は毎回いろいろな人と交流ができる。なんと楽しいことか、と独りで納得した。ところがそう決めた途端、シニア会員から多くの叱声、罵声が飛んできた。しかもその声は私にではなく、私の女房役の幹事に対して向けられた。でも、幹事はこう言っているまなかつた。「これは、田中会長が決めたことです。田中さんは他人の言うことは聞かない人です。皆さん、ご存知でしょう？」

その後は、誰からもその件についてのクレームはなかったという。良いと思ったことはやり遂げることが大切だ。

解決策②メークを奨励した

私の会長年度では、「KOC (Know Other Clubs) キャンペーン」(他クラブを知ろう)というメーク奨励のイベントを行った。一年を通じ、他クラブへのメーク回数が一番多かった会員を会長が表彰するというものだ。その効用は次のとおり。

- i 他クラブに行って友人に会い、情報交換ができる。
- ii メークを知らない新会員を連れて行き、他クラブの雰囲気を経験させることができる。
- iii 他クラブにおける見習うべき点を知り、自クラブの運営に取り込むことができる。

実際、こういうことがあった。

- i 高崎市外の他クラブにメークに行って、ロータリーに入りたいという高崎の経営者を紹介してもらったケース
- ii 高崎市外の他クラブにメークに行って、高崎への転勤の報告とそのクラブに退会の挨拶をしている人を見かけ、クラブに誘ったケース
- iii 他クラブにメークに行って、その場で同業者から仕事が回ってきたケース
- iv 他クラブにメークに行って、合同の社会奉仕活動が決まったケース

以上、すべて実話である。つまりは、数多くのメーク経験が多くのチャンスに巡り合わせてくれる、という当然の帰結である。

KOCキャンペーンの一等賞は、なんと一年に32回のメークをした会員だった。

最近では、私はKOCキャンペーンに続き、「メーク・ツアー」という他クラブ訪問の企画をしている。一人では訪問出来ないという若手会員数人を引き連れ、私がその案内役を務めている。これまでに、国内のクラブはもとより海外のクラブにも数回行った。その経験者は延べで150人を超えている。皆、メークのベテランになった。

その他、解決策はたくさんある。皆で考えて、苦労して、会員増強活動の結果入ってきてくれた新会員を簡単には失わないで欲しい。

以上は、拙著『ロータリークラブに入ろう！』(幻冬舎ルネッサンス新書・2021年6月刊)から抜粋した。詳しくは、拙著を参照してください。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫(高崎RC)

2021-2022 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
1	9~10	日~月	米山学友会総会・研修旅行		地区米山記念奨学会委員会
1	20	木	第3グループAB 会長・幹事会	東武ホテルグランデ	
2	12	土	宇都宮ロータリークラブ70周年記念式典	東武ホテルグランデ	
2	13	日	22-23年度財団補助金管理セミナー	ベルヴィ宇都宮	地区ロータリー財団委員会
2	13	日	第6グループIM	サンプラザ	
2	13	日	22-23年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ 多気山不動尊	地区青少年交換委員会
2	19	日	第3回諮問委員会 10:30~12:00	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	19	日	第2回地区運営委員会 13:00~15:00	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	19	土	22-23年度地区チーム研修セミナー 15:30~17:30	ベルヴィ宇都宮	
2	20	日	第4グループIM	フォーシーズン静風	
2	26	土	第8グループIM		
2	26	土	第9グループIM		
2	27	日	米山 修了式・歓送会		地区米山記念奨学会委員会
3	5	土	第3グループAB IM	ホテルニューイタヤ	ホスト:宇都宮陽南RC
3	13	日	22-23年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)	作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC
3	13	日	22-23年度 幹事エレクト研修セミナー(SETS)	作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC

11月会員数報告

	クラブ名	例 会 数	会 員 数								
			7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員	40歳 未満
第1グループ	大 田 原	3	29	29	0	0	0	0	0	1	0
	黒 磯	3	36	37	0	0	1	0	1	2	1
	西 那 須 野	3	47	47	0	0	1	1	0	2	0
	黒 羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	3	24	24	0	0	0	0	0	1	2
第2グループ	鳥 山	3	17	16	0	0	0	1	-1	2	0
	氏 家	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
	矢 板	4	10	10	0	0	0	0	0	1	0
	馬 頭 小 川	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	高 根 沢	3	15	15	0	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇 都 宮	4	101	107	2	0	6	0	6	3	1
	宇 都 宮 西	3	75	75	0	0	1	1	0	0	1
	宇 都 宮 北	4	43	43	0	0	1	1	0	0	0
	宇 都 宮 90	4	46	47	0	0	2	1	1	6	3
	(宇都宮90結・衛星)	1	6	5	0	1	0	1	-1	3	2
第3グループB	宇 都 宮 陽 北	4	46	47	0	0	1	0	1	9	8
	宇 都 宮 東	4	112	113	0	0	4	3	1	0	4
	宇 都 宮 南	3	54	55	0	1	2	1	1	6	1
	宇 都 宮 陽 東	4	49	50	0	0	1	0	1	8	1
	宇 都 宮 陽 南	4	24	25	0	0	1	0	1	7	4
第4グループ	宇 都 宮 さつき	3	25	27	1	0	2	0	2	4	4
	真 岡	2	57	57	0	0	0	0	0	0	0
	益 子	3	28	29	0	0	1	0	1	2	1
	真 岡 西	4	35	36	0	0	2	1	1	5	0
	し も つ け	3	20	19	0	0	0	1	-1	3	1

	クラブ名		例 会 数	会 員 数								
				7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員	40歳 未満
第5グループ	小 山	山	3	22	22	0	0	3	3	0	1	0
	小 山	南	4	15	14	0	0	0	1	-1	2	0
	小 山	東	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	小 山	北	3	24	24	0	0	0	0	0	0	4
	小 山	中 央	2	24	24	0	0	0	0	0	2	0
第6グループ	栃 木	木	3	46	49	0	0	3	0	3	5	0
	栃 木	西	4	34	34	0	0	0	0	0	1	0
	岩	舟	2	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	壬	生	3	20	20	0	0	0	0	0	2	0
	栃 木	南	4	36	37	1	0	1	0	1	7	1
第7グループ	日	光	3	21	21	0	0	0	0	0	4	0
	鹿	沼	4	62	61	0	1	0	1	-1	2	4
	今	市	2	41	42	0	0	2	1	1	1	0
	鹿	沼 東	3	37	37	0	0	0	0	0	5	0
	鹿 沼	中 央	3	17	17	0	0	0	0	0	2	0
第8グループ	今 市	き ぬ	4	27	29	0	0	2	0	2	0	0
	足	利	2	21	21	0	0	0	0	0	0	1
	足 利	東	3	34	35	1	0	1	0	1	4	0
	足 利	西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0
	足 利	わたらせ	2	35	35	0	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐	野	3	55	56	0	0	1	0	1	0	0
	葛	生	3	39	38	0	0	2	3	-1	0	0
	田	沼	2	43	43	0	0	0	0	0	0	0
	佐	野 東	3	21	22	0	0	1	0	1	2	0
	4	8 R C		1668	1689	5	3	42	21	21	108	44

(メークアップは同じ年度内に行うことができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)

職業奉仕委員長の原稿に、「職業奉仕は難しい……」と書かれてあります。職業奉仕の定義がなく、ロータリアン個々人にあった解釈ができる点がより難しくしていると思われます。ガバナーメッセージ、職業奉仕委員長に執筆をお願いし、一部重複しますが掲載しました。さらに、「ロータリーの友」1月号P7に職業奉仕に関する記事が掲載される予定です。是非一読下さい。

又、新聞紙上を賑わしている「生理の貧困」問題に支援活動を始めたクラブの記事が「ロータリーの友」P20に掲載される予定です。是非一読下さい。

(月信担当 真岡RC市村忠男)



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

ベルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : http://www.rid2550.com/